

《装 備 表》

スノーボード

NO	品 名	数量	チェック	備 考
1	スノーボード & ブーツ	1組		バックカントリーに適したもの。スプリットボードも可。
2	スノーシュー	1組		固い斜面にも対応できる小型のものが便利。(レンタル可)スプリットボードの場合は必要なし。
3	ストック	1組		3段式等、伸縮性タイプが便利。(レンタル可)
4	ザック (30・40l)	1個		スノーボードが装着できるもの。(レンタル可)
5	アバランチビーコン	1個		雪崩対策に必要。電池の残量をチェックして下さい。(レンタル可)
6	ゾンデ/スコップ	1組		無料レンタルしておりますが、持っている装備は持参するようにして下さい。
7	1/25000 の地形図	敵数		国土地理院発行レベルの予定をカバーするもの。コピー可。
8	コンパス	1本		オリエンテーションタイプ(定規付き)以上のもの。
9	ツェルト/バーナーヘッド/ガスカートリッジ	1組		ガイドツアーでは基本的に、ガイドの装備ですが、持っている装備は持参するようにしてください。
10	ピッケル・アイゼン	1本	×	今回の講習では必要ありません。
11	ハ・ネス・カラピナ	1個	×	今回の講習では必要ありません。
12	ヘルメット	1個		BC用の軽いもの。
13	アウターシェル (一番外側に着るもの)	1組		オーバージャケット、パンツ。防水性・透湿性が良くムレないもの。急な降雨には雨具として、高所では防寒着、または防風着として使用出来るものが便利。今回の講習はゲレンデ用のウェアでも可。
14	ミッドレイヤー (中間に着るもの)	1組		上半身は行動用の薄手フリースやシャツ、防寒用の厚手フリース等の組み合わせ。下半身はウール・化学繊維系のスボンやタイツ等の組み合わせ。軽く、暖かく、温度調整のしやすいもの。綿製品は不可。
15	ファーストレイヤー (下着)	1組		ポリエステル系素材のロングスリーブ、ロングタイツが望ましい。汗などの水分の速乾性と動きやすさの両立したもの。綿製品は不可。シヨーツ等もこれに準ずる。
16	靴	下 1足		素材はファーストレイヤーに準ずる(予備も必要)
17	厚手のグローブ	1組		気温 - 20℃まで耐えられるもの。
18	薄手のグローブ	1組		フリースなど。天気の良い登高時に便利。
19	サングラス	1個		非常に反射が強いので目の保護のために。ハイクアップ用
20	ゴーグル	1個		吹雪の時に必要。予備のレンズもあると可。滑降用
21	帽子	1枚		防寒、日除け共に必要。
22	目出帽	1個		気温が下がった場合の凍傷予防に必要。
23	ヘッドランプ・予備用電池	1個		緊急時、夜間の行動、山小屋の滞在中用。
24	水筒、テルモス	1個		行動中の飲み物用に。ハイドレーションも便利
25	日焼け止めクリーム	1個		日差しが強いので、日焼け防止用に。
26	医薬品	適量		各自の必要に応じて。
27	洗面用具	適量		必要に応じて。宿泊があるツアー等。

絶対に必要(講座に参加不可) ○:あった方がよい なくても困りませんがあった方がよい ×:特別必要なし
 レンタル品:アバランチビーコン(1日:1,000円)、スノーシュー(1日:500円)
 スtock(1日:500円)、ザック(1日:500円)です。
 この装備表は絶対的なものではありません。各自にて工夫してご用意ください。
 装備のご購入の際は、ご相談下さい。お勧めのものを紹介致します。